

2014 年度

北海道支部

日本顎咬合学会

認定医教育研修会

テーマ

高齢者の摂食・嚥下と機能回復

認定医・指導医
認定歯科技工士
指導歯科技工士
認定歯科衛生士
指導歯科衛生士

10単位取得

開催月日

2014年10月19日(日)

開催会場

北海道歯科医師会館 大講堂
札幌市中央区北1条東9丁目11番地

開催時刻

13:00~16:15 (12:30 受付開始)

13:00~14:30

弘中祥司 先生 (昭和大学歯学部スペシャルニーズ口腔医学講座口腔衛生学部門 教授)

「高齢者の摂食・嚥下」

14:45~16:15

林 揚春 先生 (東京都開業)

「高齢者の咀嚼機能回復を求めて」

参加申込

別紙申込書により下記宛 FAX でお申込みください

FAX.011-885-8888

小玉則夫 先生 (こだま歯科医院)

会員カードを
忘れずに
お持ちください。

申込期限

2014年10月14日(火)

参加費

学会認定医・指導医・認定歯科技工士・指導歯科技工士・
認定歯科衛生士・指導歯科衛生士は無料

それ以外の会員は 2,000円

(当日入会を済ませた者も含む)

※日本歯科医師会にご所属の先生は生涯研修登録 IC カードをお持ちください。

テーマ 高齢者の摂食・嚥下と機能回復



弘中祥司

昭和大歯学部スペシャルニーズ口腔医学講座
口腔衛生学部門 教授

プロフィール

1994年3月 北海道大歯学部 卒業
2000年4月 北海道大歯学部附属病院 助手
2001年3月 昭和大歯学部口腔衛生学教室 助手
2013年4月 昭和大歯学部スペシャルニーズ口腔医学講座
口腔衛生学部門 教授

高齢者の摂食・嚥下

口腔衛生学とは口腔の健康を通じて生命を衛(まもる)、学問のことを言います。WHO の健康の定義(1984)では、「口腔が良い状態にあること、すなわち口腔の健康とは口腔が持つ役割が十分に発揮できる状態にあること」を意味します。これらの役割が正常に営まれている状態を口腔が健康であると言えます。当部門では、口腔の健康および食支援法についての研究・臨床・教育を行っております。

我が国では、急速に高齢者の人口比率が増加し、歯の喪失は減り、世界に先立って超高齢社会を迎えております。高齢者がかかる疾患の中でも「食べる」「飲みこむ」機能が低下したことによる「誤嚥性肺炎」が注目を浴びています。この誤嚥性肺炎は、だれでもかかる病気ではありません。口の中を清潔にすることと、安全に食べる事によって予防できる病気です。この疾患は特に歯科関係者に対する国民や医療関係者の期待はとて大きいと考えます。また、同様に認知症高齢者も我が国で大きな問題となっております。たとえ口から食べていない方がいらっしゃるとしても、日々口の中を清掃する意義があります。現在では様々な口腔機能の支援方法も確立されるようになってきました。食支援の観点から、しっかり噛むことの重要性から、安全に楽しく美味しく食べる方法を皆様と一緒に考えたいと思います。



林 揚春

東京都開業

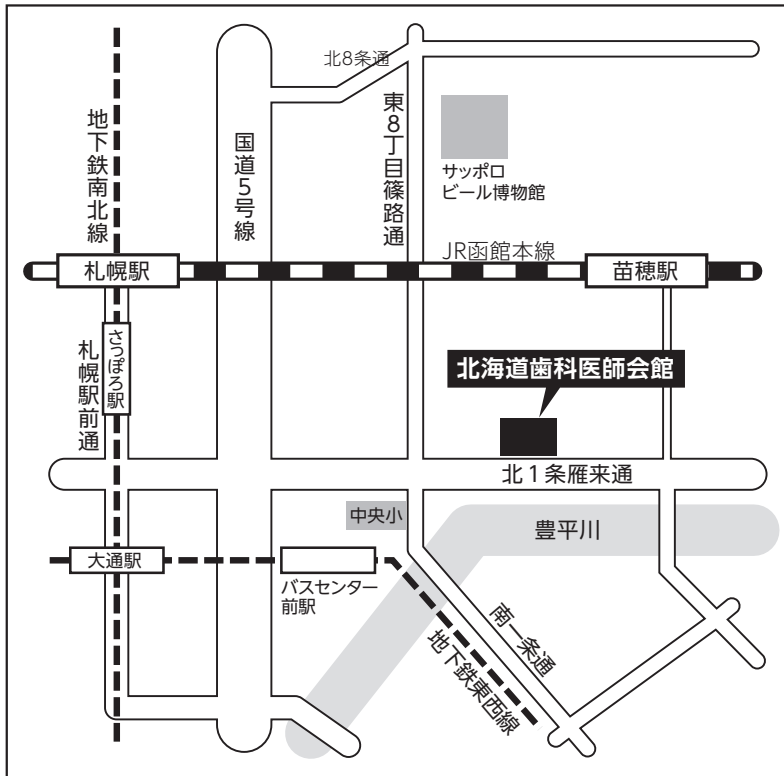
プロフィール

1979年 日本大学松戸歯学部卒業
1979
~1983年 国際デンタルアカデミー勤務
1983
~1985年 河津歯科医院勤務
1986年 優ビル歯科医院開業
現在 医療法人社団秀飛会理事長
日本顎咬合学会指導医
日本大学客員教授
日本大学松戸歯学部口腔インプラント科所属
日本口腔インプラント学会会員
ジンマーデンタルインプラント公認インストラクター
ICOI(国際インプラント学士会)指導医
朝日大学、明海大学卒業後研修講師

高齢者の咀嚼機能回復を求めて

現在の日本は、出生数が死亡数を上回る終戦後の多産小死時代から、人口転換し少産多死時代を迎え、高齢者に対する生産年齢人口の扶養負担が増加している。高齢者は、最高水準の平均寿命を誇っているが、じつは健康な状態で長生きされている方は少ない。平均で男性は9年、女性は12~13年、最後は寝たきりや要介護になっているというのが現状である。今後は、単なる長生きよりも健康寿命というものの方が大切になることはいまでもない。寝たきりや要介護の原因として、認知症、転倒骨折とならんで老化にともなう衰弱が多くなるが、高齢者の衰弱は特定の原因疾患は存在しない。この健康と病気の中間的段階を経験して要介護に陥る。この中間的段階が、フレイルティ(虚弱)とサルコペニア(筋肉量の減少)である。健康寿命を延伸させるために歯科医療は何ができるのであろうか? いかに健康で長生きするかが最大のテーマとなってきた現在、今後の高齢者の欠損補綴の取り組みについて考察する。

北海道支部 北海道歯科医師会館 会場案内図



北海道歯科医師会館 大講堂

札幌市中央区北1条東9丁目11番地

[アクセス]

- JR函館本線「苗穂駅」より徒歩8分
- 札幌市営地下鉄東西線「バスセンター前駅」より徒歩8分

参加申込書

切り取らずこのまま下記申込先へFAXしてください (期限注意)

申込期限

10月14日(火)

日本顎咬合学会
北海道支部御中

10月19日(日)の認定研修会に参加申し込み致します。

氏名	ふりがな	連絡先住所・TEL
	会員番号	〒
<input type="checkbox"/> 認定医 <input type="checkbox"/> 指導医 <input type="checkbox"/> 認定歯科技工士 <input type="checkbox"/> 指導歯科技工士 <input type="checkbox"/> 認定歯科衛生士 <input type="checkbox"/> 指導歯科衛生士 (該当を○で囲んでください)		

氏名	ふりがな	連絡先住所・TEL
	会員番号	〒
<input type="checkbox"/> 認定医 <input type="checkbox"/> 指導医 <input type="checkbox"/> 認定歯科技工士 <input type="checkbox"/> 指導歯科技工士 <input type="checkbox"/> 認定歯科衛生士 <input type="checkbox"/> 指導歯科衛生士 (該当を○で囲んでください)		

氏名	ふりがな	連絡先住所・TEL
	会員番号	〒
<input type="checkbox"/> 認定医 <input type="checkbox"/> 指導医 <input type="checkbox"/> 認定歯科技工士 <input type="checkbox"/> 指導歯科技工士 <input type="checkbox"/> 認定歯科衛生士 <input type="checkbox"/> 指導歯科衛生士 (該当を○で囲んでください)		

FAX 011-885-8888 小玉則夫 先生 (こだま歯科医院)

2014年度 認定医教育研修会

テーマ：「高齢者の摂食・嚥下と機能回復」

スケジュール(各支部共通)

弘中祥司 先生 13:00~14:30 ※歯科衛生士認定研修Ⅱ併催
林 揚春 先生 14:45~16:15

支 部	開催月日・開催時刻・会場
関 東 甲信越	2014年 9月 15日(月・祝) 13:00~16:15 JA 共済ビルカンファレンスホール 東京都千代田区平河町 2-7-9 窓口 長阪信昌 先生(ながさか歯科クリニック) TEL.042-548-4618 お申込みは学会事務局 FAX.03-6691-0261
東 北	2014年 10月 13日(月・祝) 13:00~16:15 宮城県歯科医師会館 仙台市青葉区国分町1-5-1 窓口 杉山 豊 先生(杉山歯科医院) TEL.022-222-2898 FAX.022-222-4682
北海道	2014年 10月 19日(日) 13:00~16:15 北海道歯科医師会館 北海道札幌市中央区北1条東9-11 窓口 小玉則夫 先生(こだま歯科医院) TEL.011-885-8888 FAX.011-885-8888
中 部	2014年 11月 3日(月・祝) 13:00~16:15 ジーシー名古屋営業所 愛知県名古屋市千種区姫池通3-19 窓口 三輪一雄 先生(双峰歯科クリニック) TEL.0562-93-4888 FAX.0562-93-4902
近 畿 中 国	2015年 1月 25日(日) 13:00~16:15 千里ライフサイエンスセンター 大阪府豊中市新千里東町 1-4-2 窓口 有限会社メディア・レフ(担当:山名健介) TEL.079-221-7225 FAX.079-221-7226
九 州 沖 縄	2015年 2月 8日(日) 13:00~16:15 福岡ビル9階会議室 福岡県福岡市中央区天神1-11-17 窓口 トーデント九州 TEL.092-433-5558 FAX.092-433-5552

- ★開催時刻、会場案内図、申込先は別紙をご覧ください。
- ★認定医、指導医、認定歯科技工士、指導歯科技工士、認定歯科衛生士、指導歯科衛生士の参加者は認定10単位が与えられます。
- ★他支部申込み等の照会は各支部の窓口の先生に直接おたずねください。

学会への入会手続きは下記宛お申込みください

学会事務局 TEL. **03-6683-2069** FAX. **03-6691-0261**